

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東洋医学概論IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	是石芳宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
東洋医学的なものの見方、自然と人体の関係性など、資格取得および、その後の治療を行うために必要な基礎知識を学ぶ。 主な内容は、陰陽五行論、病因病機、五臓六腑、四診、弁証論治、他。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学概論』(東洋療法学校協会編) 配布プリントなど						
《授業外における学習方法》						
① 教科書、プリントを熟読する。 ② 日々の暮らしの中で、四季や天気による体調の変化を観察する。 ③ 気づいたこと、学んだことについて、クラスメイトなど、周囲のひとたちと話してみる。						
《履修に当たっての留意点》						
私語厳禁、不明点はその場で質問すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	東洋医学的な診察の方法について説明できる。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習 しておく。	
		各コマに おける 授業予定	四診について 11 小テスト			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習 しておく。	
		各コマに おける 授業予定	弁証論治1			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習 しておく。	
		各コマに おける 授業予定	弁証論治2			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習 しておく。	
		各コマに おける 授業予定	弁証論治3			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習 しておく。	
		各コマに おける 授業予定	弁証論治4			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	弁証論治5		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	弁証論治6		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	弁証論治7		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	弁証論治8		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	弁証論治9		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	弁証論治10		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	五臓六腑と外邪内因の概念を合わせ、弁証論治が出来る。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	弁証論治11		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期の学習内容を一通り説明できる。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。 特にわからないところは、チェックしておくこと。
		各コマにおける授業予定	後期復習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容を一通り説明できる。	テキスト、プリント	前回までの内容を復習しておく。 特にわからないところは、チェックしておくこと。
		各コマにおける授業予定	総合復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容について理解し、「可」以上の評価を得る。	テキスト、プリント	理解度の確認を行い、復習する。
		各コマにおける授業予定	評価・まとめ・ふりかえり		